

低頻度健診受診者の減少を狙う「PFS活用型被扶養者受診率向上事業」の標準モデル構築

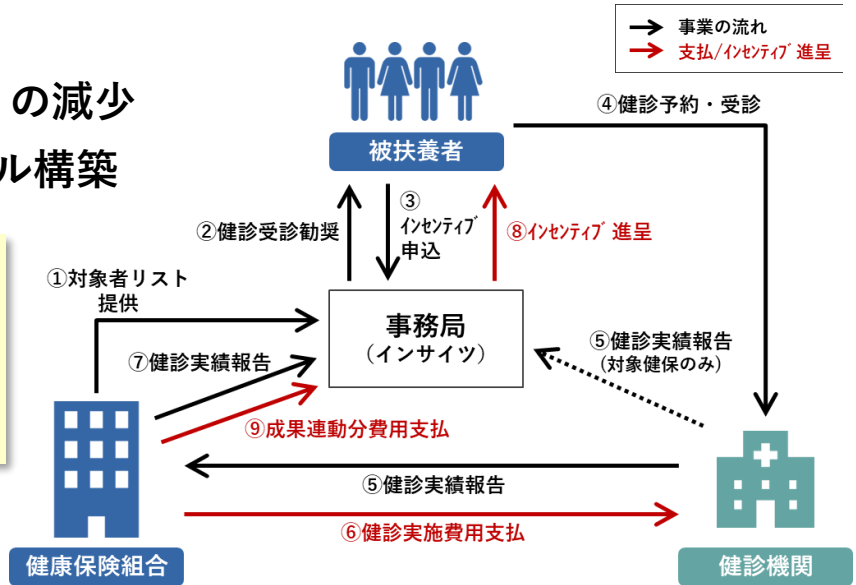
<令和5年度中間報告>

サンデン健康保険組合

📋 本事業の目的

- ① 健診受診頻度の低い被扶養者（＝低頻度受診者）の減少
- ② PFSを活用した健診受診率向上事業の標準モデル構築

本事業は、健診受診者が「ほぼ毎年健診を受診する方（継続受診者）」と「健診受診頻度が数年に1回、またはそれ以下の方（低頻度受診者）」に二極化することに着目し、ナッジ理論の活用による健診受診勧奨を行います。

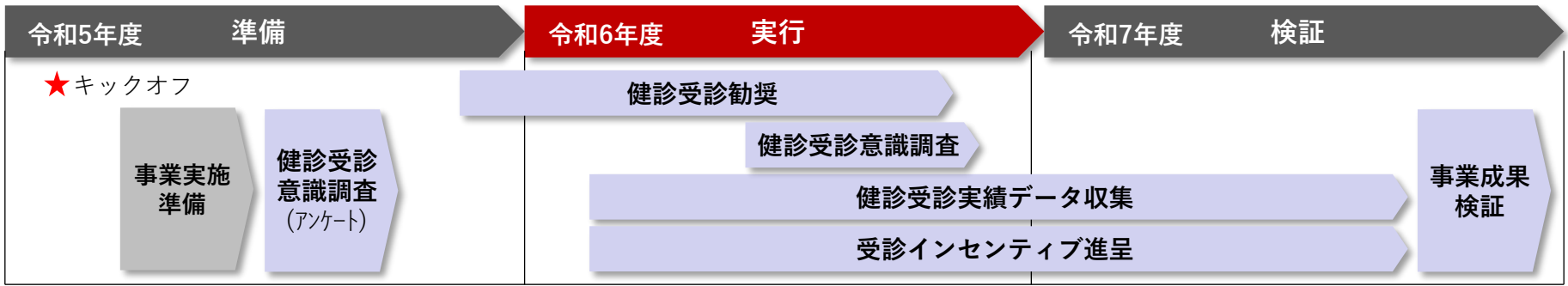


📋 本事業の成果評価方法

総費用 = 1健保あたり基本料 + 成果連動報酬① (健診受診意識調査回答) + 成果連動報酬② (健診受診インセンティブ申込数) + 成果連動報酬③ (特定健診受診数)

Legend: 基礎分 (Basic) is represented by an orange box, and 成果連動分 (Performance-linked) is represented by a blue box.

📋 事業スケジュール ➡ 令和6年度の被扶養者健診受診率向上及び成果検証のための3ヶ年計画



㊦ 令和5年度（準備フェーズ）の取り組み … 「健診受診意識調査」の実施

- ・ 次年度（令和6年度）受診率向上に向けた意識調査をWebアンケート方式で実施
- ・ 受診率向上が本事業の狙いであることから、情報収集に主眼を置いた一般的な「実態調査」に加え、調査を通じた受診意識喚起を主要な目的と位置づけ

対象者及び回答状況（参加健保の合計）

対象者数：998名 回答数：384名 回答率：38.5%

【設問例】

Q. 「健診」と「検診」の違いをご存知でしたか。



⇒ 約3分の2が「健診」と「検診」の違いを認識していない

結果のまとめ（一部抜粋）

■ 健診受診に関する本人の認識、課題

- ✓ 約7割が「1年以内に受診した」と回答しており、特定健診受診率と本人の認識には乖離がある
- ✓ 未受診理由：遠い・育児で忙しい等の受診しにくさが課題
- ✓ 健保の費用補助の認知度と受診実績には関連性が高い

■ 受診意識喚起、受診行動の意識づけ

- ✓ 本調査がきっかけとなり、健診の重要性の認知度が高まり、受診意識が高まった傾向が見られる
- ✓ 受診意識が高まった後の受診時期・受診機関の具体化が課題

サンデン健康保険組合にご加入の
被扶養者様限定
健診アンケート



健康保険組合が主体として行う毎年1回の健診をより有効に活用いただくために、当健康保険組合加入者の皆さまに行うアンケートです。ぜひ、ご協力をお願いいたします。
アンケートに回答いただいた方に、Amazonギフトカード500円分を進呈いたします。

▶ アンケートについて

・本アンケートは「健診アンケートのご協力のお礼」のハガキが届いた方限定のご案内となります。ハガキをお受け取りになったご本人がご回答ください。

㊦ 令和6年度（実行フェーズ）の主な予定

- ・ 専用はがき、メールなどを用いた受診勧奨
- ・ 健診受診意識調査
- ・ 事業運営委員会開催（10月予定）



第2回事業運営委員会（2024年1月開催）の様子